

本市の認知症施策について

令和7年8月 健康福祉部長寿福祉課 認知症施策推進室

令和6年度認知症施策

取組状況について

大津市

あんしん長寿相談所（地域包括支援センター）
（15か所／生活圏域ごとに設置）

連携

認知症地域支援推進員

医療・介護・地域資源との連携体制の構築専門相談等
認知症キャラバン・メイトと連携し、
認知症サポーター養成講座、チームオレンジなど活動支援。認知症家族介護に係る講座の開催。

認知症初期集中支援チーム（長寿福祉課）
複数の専門職による個別の訪問支援
（受診勧奨や本人・家族の支援）

医療系＋介護系職員

- ・看護師
- ・社会福祉士、介護支援専門員等

認知症専門医

指導・助言

連携

介護認定相談
・介護へのつなぎ
・専門医療へのつなぎ
・情報提供

認知症相談窓口協力事業所



日常診療・相談

認知症サポーター
民生委員など

認知症カフェ

相談・援助

専門医療の
提供・受診

かかりつけ医

- ・本人の診察・相談・家族の相談
- ・認知症専門の医療機関への受診誘導（紹介）
- ・早期診断での発見・気づき

相談・援助

認知症相談医
認知症サポート医

連携

認知症疾患医療センター
（市内2か所／琵琶湖病院・瀬田川病院）

連携

令和6年度の認知症施策の実績について

事業名	事業概要	R6実績
認知症 サポーター 養成講座	認知症への理解を深め、認知症の人やその家族を地域で支える方法を学ぶための講座を開催。	開催数：65回 参加者数：1,508人
オレンジリング フォーラム おおつ	認知症への理解促進と支援活動の啓発を目的とした地域フォーラム。講演や交流を通じて、認知症にやさしい地域づくりを推進する。	R6.9.23（月）開催 参加者数：241名
認知症簡易 チェックサイト	誰でも手軽に認知症の疑いをチェックできるオンラインサービス。簡単な質問を通じて、認知症の早期発見や受診のきっかけを提供する。	年間アクセス数 3,568件 (うち認知症疑い 有りは618件)
認知症初期集中 支援チーム	医療や介護の専門職が協力し、認知症の初期段階の人やその家族を訪問・支援するチーム。	支援対象者：20名

令和6年度の認知症施策の実績について

事業名	事業概要	R6実績
もの忘れ相談	認知症の不安を抱える方や家族が無料で相談できる事業。医師が悩みや症状の確認を行い、適切な医療やサービスにつなげるサポートをする。	健康フェスティバル内で実施 相談件数：1件
認知症ケア向上研修	医療・介護従事者を対象に認知症ケアの基本的知識を学ぶ研修。地域全体で質の高い認知症ケアを提供することを目的としている。	参加者：25名
認知症ケア 現地相談研修	施設などに講師が訪問し、認知症ケアの課題解決を支援する研修。現場の状況に応じた実践的なアドバイスを提供し、ケアの質向上を目指す。	3施設で実施 参加者：25名
3日で学ぶ 介護技術教室	家族介護者向けに介護の基礎知識や技術を3日間で学べる講座。家庭での介護に役立つ情報を提供し、安心して介護に取り組める支援を行う。	北部参加者：13名 南部参加者：8名

令和6年度の認知症施策の実績について

事業名	事業概要	R6実績
認知症カフェ事業	認知症の方やその家族、地域住民が気軽に交流できる場を提供する取組。専門職が相談に応じたり情報を交換し、認知症への理解と地域の支え合いを促進する。	市内11カ所で実施 カフェ参加者 延べ1,936名
行方不明高齢者 早期発見 ダイヤル	認知症の方が行方不明になった際に迅速に関係機関や地域と連携し、安全の確保を目的とした情報提供を行う。	新規登録者数 103件
認知症高齢者等 個人賠償責任 保険事業	認知症の方が日常生活中に他人に損害を与えた場合の賠償費用を補償する制度。万が一の事故等に備えて、ご本人や家族の不安・負担を軽減する。	新規登録者数 55件
行方不明高齢者 GPS位置情報 探知システム 利用支援事業	認知症などで行方不明になるリスクがある高齢者を見守るためにGPS機器の利用を支援する事業。家族が高齢者の位置情報を把握できることで安全確保と早期発見を促進する。	新規利用者数 9件

今後の取組について

共生社会の実現を推進するための認知症基本法（令和6年1月1日施行）

目的

認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現を推進

7つの理念

- 1 基本的人権
- 2 正しい知識と理解
- 3 障壁を除去し自立した日常生活、意見表明、参画機会の確保
- 4 意向を尊重、切れ目のないサービスの提供
- 5 安心した日常生活
- 6 研究を推進し、享受環境を整備
- 7 各関連分野での総合的な取組

認知症施策推進基本計画（令和6年12月3日閣議決定）

12の基本的施策

- 1 認知症の人に関する国民の理解の増進等
- 2 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進
- 3 認知症の人の社会参加の機会の確保等
- 4 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護
- 5 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等
- 6 相談体制の整備等
- 7 研究等の推進等
- 8 認知症の予防等
- 9 認知症施策の策定に必要な調査の実施
- 10 多様な主体の連携
- 11 地方公共団体に対する支援
- 12 国際協力

4つの重点目標

新しい認知症観

本人の意思尊重

地域で安心できる暮らし

新たな知見や技術の活用

大津市総合計画 第3期実行計画（2025～2028）

重点プロジェクト

- 01 就学前教育・保育の魅力向上プロジェクト
- 02 市役所庁舎整備プロジェクト
- 03 坂本城跡を生かした歴史まちづくりプロジェクト

04 認知症施策推進プロジェクト

認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して生活できるように、

多様な主体と連携しながらプロジェクトを推進していく。

今後の取組について

1 行政につながっていない独居の認知症高齢者の早期発見

独居の認知症高齢者は支援を受ける窓口や地域のネットワークとの接点がなく、症状の進行が見過ごされる可能性が高い。

2 新しい認知症観の普及

認知症になると「何も出来なくなる」と捉えられることが多く、社会全体に偏見や誤解が根付いている。

3 認知症当事者の活躍の場の創出

認知症と診断されたことで社会参加の機会が制限される場合があり、本人の孤立や自尊心の低下につながる。

今後の取組について

認知症サポーター養成講座

令和7年4月23日（水）堅田市民センターにて開催

認知症当事者として森田 明彦氏にご登壇いただき、参加者の方に、より認知症についての理解を深めていただいた。

【参加者アンケート 一部抜粋】

- 当事者の方のお話を聞くことができて貴重な時間となった。
- 森田さんのメッセージが勉強になりました。本音を聞く機会が大変ありがたかった。
- 内容が濃く、深く、時間が足りない感が。もっともっとお話しをお聞きしたかった。



今後の取組について

認知症カフェ事業

令和7年度は市内13カ所にて、認知症カフェを実施。
従来では、公民館や福祉施設、病院等にてカフェを開催しており、参加しにくいとお声もあったことから、今年度は新たに商業施設内での開催を実施し、より参加しやすい環境づくりを行う。



ランチ大津京：ありのままカフェ



フォレオ大津：ひとやすみカフェ

今後の取組について

オレンジリングフォーラム

令和7年9月20日（土）13：30～
ピアザ淡海大ホール

第1部

講演会「義父母の介護」

～ホンネ150%！キレイごとゼロ！超リアルな介護奮闘記～

村井 理子 氏（大津市在住の翻訳家、エッセイスト）



第2部

座談会

「認知症当事者が語る想い」

体験コーナー

「UDe-スポーツ体験会」



今後の取組について

推進体制

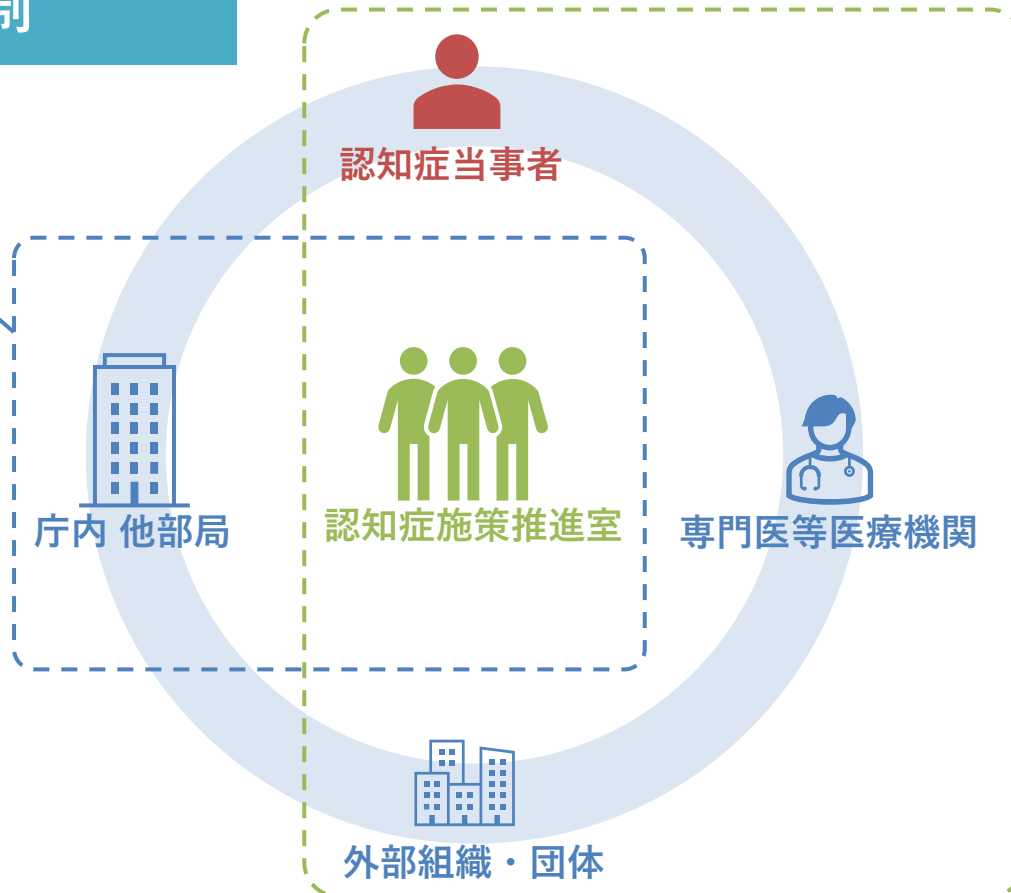
庁内連携会議

【事務局】

- ・健康福祉部長寿福祉課
認知症施策推進室

【参加部局】

- ・福祉政策課
 - ・長寿福祉課
 - ・あんしん長寿相談所
 - ・商工労働政策課
 - ・学校教育課
 - ・生涯学習課
- など



認知症高齢者虐待防止

地域支援推進会議など

【構成員】

- ・学識経験者
- ・公益社団法人大津市医師会
- ・大津市認知症キャラバンメイト連絡協議会
- ・**認知症当事者**
- ・認知症介護指導者
- ・認知症疾患医療センター
- ・公益社団法人認知症の人と家族の会
- ・大津市民生委員児童委員協議会連合会
- ・認定特定非営利活動法人あさがお
- ・大津警察署及び大津北警察署

など